

Aprire

 秋田大学広報誌〈アプリレ〉

No. **45**
2014



特集

世界へ発信！
世界と交流！
秋田大学

SATREPS(サトレップス)を通じての 資源学国際研究交流

「持続可能な資源開発実現のための空間
環境解析と高度金属回収の融合システム研究」

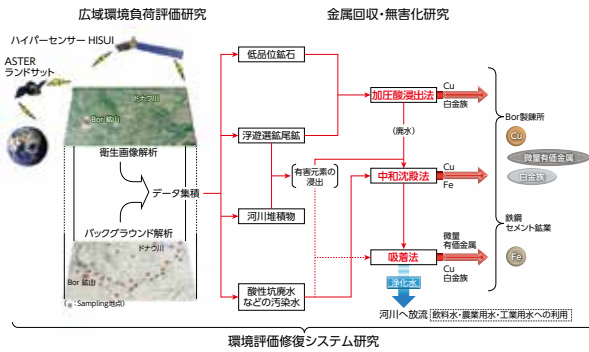
私たちの研究グループでは、元サッカー選手のストイコビッチやテニス選手のワイルドチャンプイオンのジョコビッチの母国であるセルビア共和国のボル冶金研究所を主たる研究パートナーとして、2015年度から5年間(予算約5億円)の予定で国際共同研究を始め準備を進めています。

供給に対する阻害要因となっておりつづつあります。本研究では環境汚染に悩まされるセルビア共和国の銅資源開発地域において先進リモートセンシングデータと地表データを組み合わせた3次元的な環境評価・解析と高度な金属回収技術を融合し、持続的な資源開発に不可欠な開発

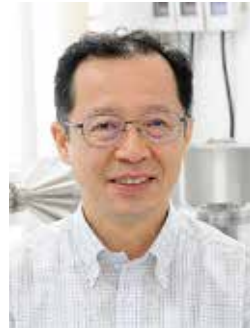
SATREPSとは?

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

=地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム
独立行政法人科学技術振興機構(JST)と独立行政法人国際協力機構(JICA)が共同実施。環境・エネルギー問題・防災・感染症・食糧問題など、一国・一地域だけでは解決が困難で国際社会が団結し取り組むべき地球規模課題解決のために、日本と開発途上国の研究者が共同で研究を行うプログラム。本学では初めての採択となった。



と環境との両立を目指した広域環境評価修復システムの研究開発を行います。従来のASTERR画像や本年5月に「だいち2号」と共に打ち上げられた「雷神2」に搭載されたセンサーによる画像を使い、衛星画像解析も行う予定です。そして、本研究で得られる成果は、セルビア国だけでなく、世界の資源開発地域で多く発生している同様の問題への展開が期待されています。本研究を通して、資源分野で国際的に活躍する日本人若手研究者の育成さらには世界の鉱山地域への技術適用および人的ネットワークの拡大を推進することができ、秋田大学にとっては、資源にかかわる総合的研究教育拠点形成活動の一つになります。



国際資源学部
資源開発環境コース
教授 石山 大三

研究の構想

セルビア共和国での100年以上の鉱山活動
●ドナウ川下流(ブルガリア)⇒黒海まで汚染拡散の可能性
●従来技術のみ⇒適切な評価と修復は困難



研究地域/セルビアボル冶金地域を含む数千km²の地域

- リモセン+現地検証
- 鉱業廃棄物の拡散と汚染環境の評価
- 高度な金属回収技術
- 鉱業廃棄物・廃水の無害化・資源化の研究
- 環境修復のための全体システムの構築

社会実装/研究期間終了後

- セルビア側での広域環境負担評価の継続
- パイロットプラント試験等による実用化
- 順調に進捗すれば5年程度の後可能に

セルビアのボル冶金研究所での金属回収試験の様子。写っているのは国際資源学部 柴山教授



世界へ

国際的・先進的な研究への飽くなき探求。
未知なるもの、新たな資源を求め
秋田大学の教育・研究は
世界に向けてさらなる飛躍を目指します。

発信!

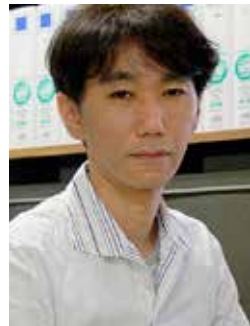
未知なる脂質の特性を解明。多様な病気への予防・治療法の確立に向け先進的研究で臨む

私たちが行っている研究分野は「生命科学(ライフサイエンス)」という医学と生物学を合わせたものです。着目点は生体成分の中でも「脂質」と呼ばれる分子群です。脂質は遺伝子と並んで全ての生き物に含まれるものです。約10年前ヒトに存在する遺伝子(酵素などのタンパク質の設計図)は全配列が解明され、もう新しい遺伝子やタンパク質を見つけてくることは出来ません。一方で脂質は水に溶けない物性から解析が難しく、手つかずの研究対象として残されています。私たちは主に二つの戦略で脂質の生命機能解明に取り組んでいます。

一つは遺伝子欠損の技術^{※1}によって脂質を作ったり壊したりする酵素の働きを持たないマウスを作ること。脂質が増加・減少する状況をマウスの体内で作って出し、多様な病気の発症への関与を調べるといふ研究です。

もう一つは脂質の定量技術を開発すること。これには質量分析計^{※2}を活用しています。誰も持たない解析技術を開発して、未知の生体脂質を発見するという研究です。この技術を使って健康な人と病気の人の脂質を比べ、病気の原因となる脂質や病気の状態を反映する脂質を見つけられます。

こうした研究により、脂質を応用した新しい治療薬や診断方法が確立できればと考えています。10年、20年先の世界の医療を支えようとするものです。



医学系研究科 医学専攻 病態制御医学系 微生物学講座
教授 佐々木 雄彦

脳が働くためには神経と神経の連絡役となる物質・グルタミン酸が必要で、私たちの脳はこの物質で溢れています。一方でグルタミン酸は脳卒中やアルツハイマー病などの神経疾患において脳神経細胞を殺す作用を持っています。この研究は神経細胞が通常どのようになっているか、グルタミン酸がもつ毒性から守られている

この研究は本学と群馬大学による連携グローバルCOEプログラムの一環として進めていたもので、海外のグループも含めてのチームプールの成果でもあります。広く読まれていく科学誌への掲載だとやはり目に付きやすく国内外の共同研究者から沢山のお祝いメールが届きました。何十年も会っていない高校の同級生からも届きました(笑)。科学の世界では「Nature」でなくとも英語で発表することが重要です。

私たちのような小さな研究室の発見でも、科学誌に掲載されると世界中の多くの方の目に触れることになり、大勢を巻き込んだ大きな研究への発展が期待できます。国内外からの協力も増し、現在行っている新たな研究へも弾みがつきました。



質量分析計などの装置を駆使し、脂質の分析にあたる生体情報研究センター 中西助教

科学誌「Nature」に掲載された研究について

- ※1) 2007年のノーベル生理学・医学賞
- ※2) 2002年のノーベル化学賞

次ページへ

資源分野における JICAとの連携について

秋田大学 国際交流推進役

倉科 芳朗



後の事業を具体的に効果的に実施するために合意書を交わしました。JICAが大学との連携文書を締結するのは27例目、資源分野では初めてのことです。また、東北地区でも今回が初の合意となりました。

秋田大学は平成25年11月19日に独立行政法人国際協力機構（JICA）と「資源分野の戦略的連携合意書」に署名し、国際化への体制整備をまた一歩進めました。新設した国際資源学部を核に国際社会に通用する人材育成を図る秋田大学と、資源分野の人材育成を中心に国際協力を強化したいJICAの考えが一致し、今

平成26年5月29日、JICAから市川理事らが本学を訪問されたときの様子。



秋田大学とJICAとの連携は、以前から協力隊事業などで実施されてきました。平成22年10月にJICAから招へいた初代の国際交流推進役が中心となり、それまで18カ国32校だった海外協定校を現在の27カ国52校に増加させるなど、秋田大学の教員・学生が海外で活躍する場を広げられました。私はその2代目として、昨年着任しました。

JICAとの連携合意後、秋田大学はモンゴル・パキスタンからの本邦研修生受入れ、セルビアでのSATREPSの採択、さらにはモザンビーク・ボツワナでのJICA調査団に参加し日本政府が行う国際協力に助言するなど、着実に事業に結びついており、加えて、「資源の絆プロジェクト」^{※1}および安倍首相が発表した「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）」^{※2}を通じて、短期研修の実施なども検討されています。



平成26年1月、モザンビークにて。安倍首相と玉本前理事。

※1) 資源分野の修士・博士課程を対象としたJICAの本邦研修制度。
※2) <http://www.jica.go.jp/regions/africa/internship.html>

平成22年に中国が日本へのレアアースの輸出を禁止したため、日本の産業界が大変なダメージを受けたこともあり、資源分野が再び注目されるようになりました。資源学に深い知見のある秋田大学が、豊富な海外現場力を持つJICAとの「Give & Take」を通じて、より一層の発展を遂げ、日本の資源分野の教育研究のナショナルセンターとなることに期待が集まっています。

世界と

国際的に活躍できる人材の育成、
留学生教育の充実、研究者による
国際交流などを推し進め、
秋田大学は人材・知識・技術等を駆使し
世界との協力・連携を積極的に展開します。

交流!

研究を取り組むきっかけ
学生時代（東大薬学部）に研究室でシグナル伝達の教育を受けたことが脂質研究の始まりでした。その後ロント大学に留学、遺伝子を欠損するマウスを作製する技術を得て脂質研究にその技術を適用し、現在の研究

モチベーションの掘りどころとは
一つはオリジナリティーというもの。どんなに大きな研究分野でもその始まりは一つの小さな発見にあります。扇の要になるような新しい知見です。例えば抗がん剤として使われる分子標的薬の一つ。その始まりは1960年代にある研究者が見つけた「マウスの赤ちゃんの歯が生えてくるのを1日早くする物質」にたどり着きます。小さな発見からアイデアを広げ発信することで、世界各地でその考えに基づく研究が展開されることは、小さな研究室からでも期待できます。

未知のものを自分たちが最初に見つける期待感もモチベーションです。建物や文学などと違って、生物は人間がつくったものではないので何万年も前から今の様子で存在します。そんな生物の中につとありながら誰にも気付かれずに眠っていたものを自分たちが掘り起こして最初に目にするのに大きな魅力を感じます。脂質の研究はまだまだ発展途上、たくさん情報がある「宝の山」です。最新の解析技術等を使ってこの「宝の山」に向かうことが私の楽しみです。

一瞥一見より
モチベーションの掘りどころとは
一つはオリジナリティーというもの。どんなに大きな研究分野でもその始まりは一つの小さな発見にあります。扇の要になるような新しい知見です。例えば抗がん剤として使われる分子標的薬の一つ。その始まりは1960年代にある研究者が見つけた「マウスの赤ちゃんの歯が生えてくるのを1日早くする物質」にたどり着きます。小さな発見からアイデアを広げ発信することで、世界各地でその考えに基づく研究が展開されることは、小さな研究室からでも期待できます。



Bob Mitchell博士とのディスカッション(米国コロラドにて)

今後の抱負
秋田大学オリジナルの疾患モデルマウスと解析技術で脂

各国の研究者との学術交流
10カ国以上の研究者と連携して研究を行っています。特定の分野で長く研究を続けていると顔見知りも増えてきます。国際学会では最近よく論文で名前を見る若手研究者から何十年前も前に金字塔となる論文を出した大御所研究者まで意識的に交流しています。あらかじめ論文で名前を知っておりお互い親近感があるからか、初めて会つてすぐに共同研究を始めるといったことも多々あります。

結びついていると思つていません。「最先端：次世代研究支援プログラム」という内閣府の研究費を得て、脂質代謝酵素の遺伝子欠損マウスを約20系統樹立しました。講座の教員や研究補助員の努力の賜物ですがこういったモデルマウスシリーズの充実は世界に目を向けても他に類を見ないオリジナルの資産になっています。



国際シンポジウムを終えてつづく、各国の研究者仲間との懇談

皆さんが将来身を置く世界はいろんな国の人がいるんな英語を使ってコミュニケーションする場でしょうから、上手くない英語を聞くことにみんな慣れていきます。外国に出て多くを得ようとするなら、仕事や学問の技術や知識、あるいは日本の文化や歴史など、外国で人に与えられるものを日本に持っているうちにたくさん身につけておくことが大事だと思います。

将来、世界を舞台に活躍したいと希望する学生へのメッセージ
英語をうまく話せないと感じている方は少なくないと思います。でも言葉について心配しすぎて気後れすることのないように。なぜならば、自分が売りになるものを持つていけば相手はその情報を得ようとしてこちらの英語が多少拙くても会話が成立します。

質と病気の関係を解明し、いずれば薬の開発につながります。まずは新しい脂質を発見して教科書に載せるような仕事を完成させたいです。

教員紹介
国際資源学部

国際協力学の分野から見る国際交流

国際資源学科 / 資源政策コース

准教授 **藍澤 淑雄**

私は国際資源学部資源政策コースで、国際協力学の観点から開発途上国政府による資源の利用・管理や、それに対する国際社会による支援のあり方について検討しています。

「国際交流」は、私が専門とする国際協力学と密接に関係しています。国際協力は常に協力する相手が存在して成り立つものです。そして協力する相手の考え方や立場を理解することなしに、協力関係の基礎となる信頼関係を構築することはできません。したがって、国際交流は、国際協力の前提であると考えています。私自身が国際協力学を専門とするのも、これまで国際協力の現場でさまざまな人々と関わる中でそのことを実感し、国際協力のあり方を真剣に考えるようになったからです。

開発途上にある資源国では、資源が採掘・採取されているからといって、必ずしもそこに暮らす人々にその恩恵が公平で平和的に分け与えられているとは限らないのが現状です。私は国際協力学の観点から「開発途上にある資源国の人々がその恩恵を享受するには、政府・民間はどのようなべきか、国際社会はどのように支援すべきか」ということを検討しています。そのためには、まずは開発途上にある資源国が置かれた立場をよく理解する必要があります。さらに忘れては



ならないのは、資源国といってもその中にさまざまな立場の人々がいるということです。まさに「相手の立場を理解する」という国際交流の基本姿勢が必要になってくるわけです。

国際資源学部は平成26年4月に始動したばかりですが、海外での資源フィールドワークなどを通じて国際交流の機会がカリキュラムに組み込まれています。学生が、資源国の人々や社会を考えを及ぼせながら、資源を多角的に捉える感覚を身に付けていくことが期待されます。



教員紹介
教育文化学部

フランスの民法等の研究を通じた研究者交流

地域文化学科 / 地域社会コース

講師 **小野寺 倫子**

法学分野で用いられる研究手法のついで、異なる国の法制度の比較を行う「比較法」があります。私は、フランス法と日本法を比較して環境保護への市民参加について研究しています。フランスには環境保護団体のための特別な訴訟制度があり、フランスの立法や裁判、学説について調べるために、本や雑誌・インターネットを利用した調査に加えて、国際シンポジウムへの参加、



日仏二国間研究会会場・パリ第2大学

インタビューや電子メールによるフランス人研究者との情報交換、現地での文献調査といった情報収集活動を行っています。

平成25年5月には日仏環境国際シンポジウム「環境と契約・日仏の比較研究」やその参加者による公開講演会（平成25年5月25日・27日、於・早稲田大学）に参加しました。フランス側報告者の通訳のほか、講演者の送迎や食事を共にするなど、フランスの研究者とさまざまな形で交流することができました。また9月10日・11日にパリ第2大学・パリ第十三大学で開催されたアンリ・カピタン協会日仏二国間研究会「損害・伝統と芸術」では、

「環境損害」というテーマで日本法を紹介しました。この研究会ではフランス側報告者から最新の法状況が紹介され、また後日資料を送付してもらったなど、多くの成果を得ることができました。

今日、グローバル化の流れの中で、法学においても国際的学術交流の必要性が高まっています。しかし、法はもともとそれぞれの国のルールとしてその国のことばで語られるものです。英米、ヨーロッパ諸国、日本と、法の仕組みが大きく違うこともあつて、日仏間の学術交流では英語ではな

くフランス語が用いられるのが一般的です。そのためフランス語の習得にそれなりの努力を強いられませんが、実際にフランスの研究者と交流することによって、文献から何がわかっていかなるフランスの法的・社会的背景を知ることが出来ます。

比較法は、日本法を諸外国の法との関係で相対化して観察する法学研究手法といえます。法の多様性やそれについて学ぶ楽しさを少しでも学生に伝えることができればと思っています。

教員紹介
理工学部

国際交流窓口教員として思うこと

システムデザイン工学科 / 機械工学コース

准教授 **宮野 泰征**



(写真1) 一番左が宮野先生。ケミートルニオ大学学長、副学長、留学担当教員、米山先生(秋田大)とともに



(写真2)

学大学現・ラップランド応用科学大学の秋田大学側の窓口教員として学生交流支援の担当となり、2011年11月には交流訪問の機会をいただきました(写真1)。

北欧という地域を思い浮かべると、はるか遠くの寒い国々といったイメージを描く人は多いのではないのでしょうか。十数年前の私もそんな印象を抱く学生の一人でした。そんな当時の私に突如フィンランド留学の話を持ち上がり、数年後、日本学術振興会特別研究員(PD)の在外研究として実現されることになりました。

フィンランドの首都ヘルシンキへは日本から空路9時間少々。時間・距離ともにヨーロッパ最短期の都市と言われています。北緯60度という高緯度ながら白夜の季節にはあちこちで海水浴が楽しめるほど温暖です。冬は時折マイナス30℃を下回るくらい極寒なのですが、刺激的な1年間を、私は首都圏にあるVTTフィンランド国立技術研究所で過ごしました。万全の語学準備とは言いがたい状態で臨んだ在外研究で、英会話コミュニケーション能力は随分と鍛えられました。

このような経歴をご考慮いただいてか、ケミートルニオ応用科

入力を大学の重点方針の一つに掲げ精神的な大学運営を展開しており、欧米圏だけでなくアジア・アフリカ圏からも多数の留学生を受け入れていました(写真2)。留学生用の寮はとても清潔で快適との印象を得ました。寮は数名で1区画をシェアするタイプが人気とのこと(写真3)。ルームメイトとの日常の接触で語学力とコミュニケーション能力の強化が図られるようです。

海外渡航を考える学生の皆さんを不安にさせる要因の一つに、言語コミュニケーション能力があると思います。語学力の備えはあるに越したことはないですが、語学に神経質になりすぎて海外へ飛び出す勢いを失って欲しくないという思いがあります。「伝えたい」という気持ちがあり、「伝えなくてはならない」状況に追い込まれたとき、人は必然的に努力します。そのとき、結果は必ずついてくるものだと思います。



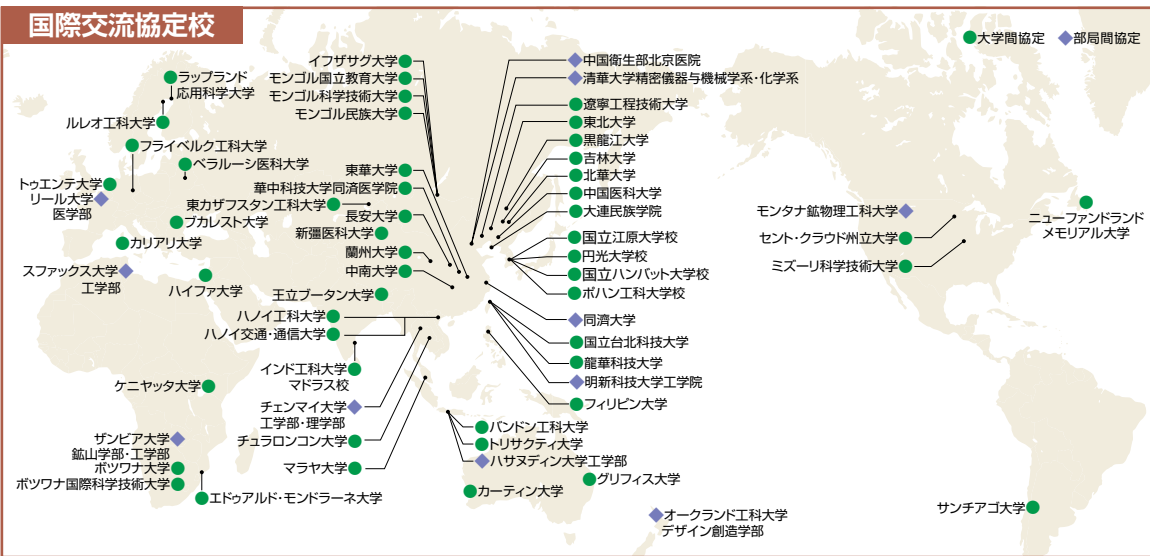
(写真3)

広がる協定校の輪

秋田大学は平成26年7月1日現在、大学間で52大学(27か国・地域)、部局間では16学部等(9か国・地域)と国際交流協定を締結しています。先月6月12日には蘭州大学の学長一行6名が本学を訪問し、大学間協定(平成17年度に締結)に加え、新たに医学部附属病院同士で、

さらに交流を深めるための覚書を締結しました。地域別に見ると、大学間・部局間どちらもアジア地域が6割を占めており、中国、台湾、韓国のほか、日本の大学で初となる王立ブータン大学や、インドネシア、マレーシア、モンゴルなどの資源国の大学とも協定を結

びました。ドゥアルド・モンドラーネ大学と協定を締結しました。本協定は1月11日から13日まで安倍首相が経済ミッシェンとしてモザンビークを訪問された際に、首相及びモザンビークのゲブーザ大統領の立会いのもと締結しました。



平成26年6月12日 蘭州大学学長一行の表敬訪問並びに附属病院間の協定締結

和国のエ

結び、今年度は4月にイン

佐野 信子

国際課がドはさらに広

ALL Roomsへようこそ!

Autonomous Language Learning Room

英語力を伸ばしたいと思っている学生なら誰でも利用可能な語学専用の学習室です。常駐の学生スタッフが、学びをサポートしています。

●開館日時 / 月曜～金曜10:30～17:40 ●場所 / 手形キャンパス学生支援棟2階

ALL Roomsを活用して目標を達成しよう!

- Speaking 流暢に話せるように
自然な表現を身につけたい
ディスカッションしたい
- Listening スピードに慣れたい
ネイティブの先生の授業を理解したい
ニュースを聞けるように
- Reading 速読したい
辞書なしで読めるように
- Writing エッセイを書きたい
要約力をつけたい and so on……



ALL Rooms運営統括する教育推進総合センター 濱田 陽先生からのメッセージ

●ALL Roomsの活用状況について

留学を目指す学生・英会話力を伸ばしたい学生・英語で友達を増やしたい学生など、さまざまな目的を持つ学生が訪れています。毎週火曜・水曜9/10時限は誰でも参加可能な英会話サークルが行われ、「参加してみると楽しい」という声をよく聞きます。スタッフと学生にとっての「ALL English 憩いの場」からは絶えず笑い声が聞こえ、独特のよい雰囲気の中、時間が流れています。

●ALL Roomsのおすすめポイント



今まで学習してきた英語を、ALL Englishの環境で実際に使うことによって、英語によるコミュニケーションの力や自信がついてきます。また、学生スタッフを含め、英語を使った「開放的」環境の中に身を置くことで、友達も作りやすく、学年・国籍を越えた学生の輪も広がります。真剣に留学を目指して学習する学生もおり、効果的に活用されてきているように思います。「学生による学生のためのALL Rooms」がどんどん広がっているのを嬉しく思っています。

●今後の展望

おそらく、まだALL Roomsを利用したことのない学生や、利用することで力を伸ばすことができる学生がいると思います。運営側の教員は「学生の視点」、学生スタッフは「ユーザーの視点」という多角的視点を持ちながら、口コミ・友達との輪・発信力など様々な方面からALL Roomsのよさを伝えて、より多くの人たちの役に立てほしいと思っています。

●まだ利用したことのない皆さんへ

知らなきゃ損ですよ! 英語が苦手・得意は二の次、まずは一度行ってみようALL Rooms. Let's have fun in English!

リニューアルオープン

平成26年秋に拡張工事完了予定の学生支援棟。ALL Roomsのスペースも拡充予定! より開放的な空間で、のびのび学習できます。

8月2日(土)オープンキャンパスの予定

●英語自主学習システム体験コーナーを開催(10:00～16:00)

秋田大学の英語教員・学生と一緒に、英語自主学習システムを使った英語学習を体験できます。「大学の語学学習ってどんな感じかな?」という高校生の皆さんの来場をお待ちしています。



●学生スタッフから一言

〈若松 庸子さん(教育学研究科2年次)〉

好きな時間に気軽に足を運んでください。スタッフ一同、いつでもWelcomeな空気でお迎えします。

〈柴田 朱里さん(教育文化学部3年次)〉

英語を使ってさまざまなことに挑戦する皆さんの力になれるのがALL Roomsです。多彩なイベントも開催しています。まずは一度来てみてください!

A p r i l 2 0 1 4 . 7

先輩なう。

新規プロジェクト開発本部
国際石油開発帝石株式会社◆工学資源学専攻 地球資源学専攻
博士前期課程
平成20年3月修了

松井 真理さん

「資源」に携わり、日本を支える
OB&OG編

様々な現場で活躍している秋田大学OB・OG。先輩の「今(=なう)」取材しました。

◆工学資源学部 地球資源学科
平成14年3月卒業

山田 哲也さん

経済産業省
商務情報政策局商務流通保安G高圧ガス保安室

秋田大学で過ごした6年間で、特に印象的なことは？

学部3年次に受講した石油地質に関する講義です。そのときに感じたワクワク感が強く印象に残っています。この広い地球上でも石油が出る場所は限られていて、100本200本掘って1本当たるか、という世界です。「どこを掘ったら石油は出ると思う?」という先生からの問いかけ。いくつかの成立条件がある。これは面白い、と感じた気持ちが今も続いています。



学生時代、特に夢中になったことが二つあって、一つは、4年次に上がるための進級論文です。秋田県北部の山で1人3~4km四方のフィールドを与えられ、一か月間、地質調査を行いました。藪をかき分けながらも調査に適した岩肌を探し、地質の調査・分析に明け暮れました。

もう一つは、深海底コアから採取した微化石の調査です。海底に降り積もったプランクトンの遺骸などを調べることで、太古の海洋環境を解析することができるんです。

こういった取り組みを通じて得た考え方や調査・分析の手法は、石油会社に就職した今も基礎となっています。



石油業界を志すきっかけは？

大学での研究を基に、より広いフィールドで働いてみたいと思い、志望しました。石油会社では、調査・掘削・開発・生産・供給、こういった一連の流れに携わることができます。地球上すべてが探鉱の対象で、特にまだ手つかずの地域を調査・検討し、掘削して、新しい資源を見つける、それがこの業界で探鉱に携わる技術者として一番の醍醐味だと思いますし、私自身が追い求める夢でもあります。

まだ誰も試したことのないタイプの油ガス田を見つけ、世界のエネルギー事情を変えることだってできるかもしれない。この業界にはそういった壮大なロマンがあります。

就職して7年、最も大変だったことは？

探鉱対象地域を選定するための地質の調査・評価等に1~3年、社内の合意形成・鉱区取得・探鉱データ取得・掘削に2~5年、開発・生産にたどり着くまでに十数年という長いスパンを要する事業です。何兆円という莫大なお金と人を動かすことになるので、まずは社内の経営陣を納得させられるだけのデータとその解釈結果を提示できるか。根気が試される職種です。

それでもがんばっていただけるのは、やっぱり「当てたい」から。社内を説得して、掘ってみて、実際にそこに資源があったら、すごく嬉しいんだろなという気持ちがあるからです。

また、新潟県のガス田の掘削現場においては、掘削中の掘りくずから地層を分析し地下の状態を判断する担当をしていました。掘削が成功して、湧き上がってきたガスに火をつけてみる…「火が付いた!」その炎を目にしたときの感動は忘れられません。

男社会のイメージが強い石油業界ですが、実際に働いてみていかがですか？

確かに男性の多い業界ではありますが、女性だから困ったと感じたことはこれまでありません。少数派であるからこそ、社外の方からも覚えてもらいやすく、いろいろな情報を教えてもらえることもあるので、メリットと感じています。当社でも女性技術者を積極的に採用していこうという追い風もありますし、ぜひ国際資源学部の女子学生の皆さんにもチャレンジしてほしいですね。



米国ユタ州での地質巡検

学生時代、夢中になったことは？

勉強と部活に明け暮れました。部活動では、アイスホッケー部で主将を務め「上手になりたい厳しい練習を共にしたメンバーと、一緒に勝ちたい!」という思いから全力でプレーをし、熱く、そして、内容の濃い部活生活を送りました。目的を達成するための手段や方法、その過程で得る仲間との絆、あきらめず努力し続けることの重要性を身にしみて感じました。



経済産業省入省を目指したきっかけは？

人の役に立ちたいという思いと、地球資源と関わりのある仕事をしたという思いから志望しました。他の進路で専門分野を突き詰めるか、経済産業省で幅広く大きな仕事をするかという選択で、私は後者を選びました。官庁訪問時に感じた、職員一人一人が担当する仕事のスケールの大きさ、そして仕事への思い入れの強さに「この職場で、この人たちと一緒に仕事をしたい」と心動かされたからです。

仕事のやりがいを教えてください。

省エネ課で自動車の燃費基準の策定に携わっていたことです。省エネ・業界の競争力向上・技術開発・安全面など様々な視点から総合的に判断する必要がありました。1年半をかけて業界や他省庁と粘り強く議論を重ね、当時の世界最高水準の燃費基準を策定するに至りました。世間の注目度も高く大変でしたが、そのような仕事の一部を担えたことにやりがいを感じました。自身の仕事が社会の歯車になり、企業や国民の生活をプラスの方向に導いていると感じられることがモチベーションを維持する一つになっています。



入省後、メキシコへ語学留学していたそうですね。

経済産業省では貿易や通商関係で世界各国との関わりがあり、とりわけエネルギー資源や鉱物資源の分野では中南米各国とのつながりも重要です。そこで入省7年目にメキシコ国立自治大学へ9ヶ月間留学し、スペイン語を学びました。

日本では電車やバスの時刻表が必ず掲げられていますが、メキシコの交通機関にはありません。「来た電車に乗ればいいじゃないか」と笑う



メキシコシティのテオティワカンにて

メキシコの人々に、文化の違いを感じました。

家族を大事にする国民性、様々な国の人との出会い、現地暮らしでその文化に肌で触れたことが良い経験となり、考え方の幅が広がりました。

秋田大学での学びを、現在どのように活かされていますか？

進級論文・卒業論文では、フィールドワークでの情報収集やその後の分析を経て、論文を組み立てていきました。経済産業省において「政策を作る」ということにも似たところがあります。まずは企業の考えをヒアリングするところから始まり、その上で我が国の進むべき方向を多角的に分析し、まとめ上げていきます。このプロセスなどは、つながるところがあると感じています。

そしてもう一つ、「議論をする」ということです。学生時代、同級生や諸先輩方・先生とよく議論をしました。仕事をしていく上では物事を一人で決めることはなく、部署内や様々な部署との調整が必要であり、議論することが重要です。部活での経験も含め、様々な方とのコミュニケーションが今の自分の糧になっています。

ハサヌデイン大学講師 メウティア・フアリダさん(インドネシア出身)

秋田大学には平成20年10月から24年8月在籍し、微生物学・石灰質微化石に関する研究を行い、博士号を取得。現在、母国インドネシアのハサヌデイン大学で講師を務めている。

秋田大学で過ごした日々

秋田は落ち着いた過ごしやすい街で、出会う人も皆とてもフレンドリーでした。印象的なのが、もちつき大会のこと。地域の方々が大学にいらして、私たち留学生に手取り足取り作法を教えてくださいました。

また、第一子を秋田で出産したことも、かけがえのない経験でした。子育てをした



佐藤時幸先生(右端)・研究室の仲間とともに。右から二番目がメウティアさん



秋田大学で資源を学んだ留学生

母国での活躍

秋田大学では、スラリー輸送法(砕いた鉱石を水に混ぜパイプラインでプラントに送る方法)など、環境に優しい輸送技術について研究しました。

理論を学び、それを証明するための実験・実地調査を行うこと



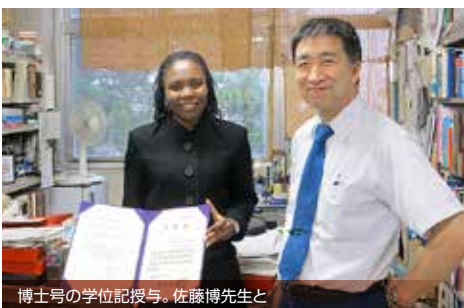
ポツワナ国際科学技術大学講師 イトウメレン・ツハネツオ・セイツイロさん(ポツワナ出身)

秋田大学には平成21年10月から25年10月まで在籍し、水力輸送システム工学を学び、博士号を取得。現在、ポツワナ国際科学技術大学(B-IUST)・平成23年新設の国立大学で講師を務める。

で体系的な研究が可能でした。私の可能性を信じてくださった佐藤博先生のご指導により、前向きに研究を続けることができました。

日本で大変だったこと

日本語です!最初にきちんと学ぶチャンスが逃してしまっただけか覚えるのに苦労しましたが、必要最低限の日本語を習得し、ジェスチャーでやりとりすることも学びました。



博士号の学位記授与。佐藤博先生と



秋田新幹線「こまち」の前で

秋田大学在学時には、佐藤先生から「進歩するかどうかは自分の努力次第だ」とよく励まされました。そのお言葉は私の宝物です。現在受け持つ

間の調整やレビューチームの任命を、卒業課題については学生への試験の実施を担当しています。

将来の夢

工学資源学のエキスパートとして、国際的に名を轟かせたいと思っています!

まだ二期生までしかない新設の大学で、現在「工学入門」という科目を教えています。来学期からは新3年生に鉱山学を教える予定です。学生が授業で得た知識を発展・応用している姿を見るときには、講師としての喜びを感じます。

ポツワナと日本を結び架け橋として

これから日本へ留学する学生たちに、日本ではどんな生活が待っているかを伝えたり、相談に乗ったりしています。今後はポツワナの人々に私の見てきた「日本」を紹介し、経験を共有することができればと思います。

がらの研究生生活は、指導教員の佐藤時幸先生や研究室の仲間の理解なしには成し遂げられませんでした。大学近くの保育園に息子を預けていましたが、担任の保育士さんたちにもとても良くしてい



秋田県の田沢湖にて

ただきました。当時赤ちゃんだった長男も今や3歳半になり昨年には弟も産まれ、すっかりお兄ちゃんになりました。



現在のメウティアさん一家

現在、大学講師として微生物学関連の授業をいくつか受け持っているほか、卒業論文や卒業課題のコーディネーターをしています。卒業論文に関しては学生と指導教員



山手台店オープン!!

スタッフ募集!

土崎店・山王店も同時募集!
未経験者・学生・フリーター大歓迎です!

まかない有り!!!!

アルバイト・パート ● 夏期・冬期プチ賞与支給!!

時給 山手台店 750円 ~ 土崎店 730円 ~ 22時以降 (深夜手当) 山手台店 937円 ~ 土崎店 912円 ~

見習い可・正社員への登用有 (社会保険・雇用保険完備)

職種 ▶ ①ホールスタッフ ②調理スタッフ 資格 ▶ 年齢・経験不問 ※22時以降18才以上(法令による)
勤務地 ▶ とんかつ藤よし山手台店・土崎店・山王店
給与 ▶ 時給750円~(山手台店)・730円(土崎店・山王店) ※昇給有り ※試用期間3ヶ月は時給700円
勤務 ▶ 10:00~23:00の間で4~5時間程度 ※週3日程度・勤務時間相談 休日 ▶ 相談に応じます
待遇 ▶ 大入り制度有、カテゴリー奨励金有、まかない有、夏・冬プチ賞与有
応募 ▶ 電話連絡の上、履歴書(写真貼付)持参か郵送下さい。

僕らの課外活動

秋田キャンパスネット

●代表/阿部 寛史(教育文化学部 国際言語文化課程3年次)

平成26年3月18日~31日、ネパールに4人、カンボジアに6人、計10人がスタディーツアーに行ってきました。

【ネパール編】

二つの学校で6歳~15歳の子どもたちを対象に、計6回のワークショップを行いました。「あなたの大切なものはなんですか?」というテーマのもと、絵を描いて発表してもらいました。事前に、日本の子どもたちにも同様のテーマで絵で描いてもらっていたのですが、ゲーム機や人形、ペットなどの絵が多かった日本に対し、ネパールの子どもたちは山、川、家、電気などが多く描かれていました。



日本の子どもたちが当たり前だと思っているものを、ネパールの子どもたちは大切に思っていることがわかり、生活水準や価値観の違いを改めて感じさせられました。

プロフィール

- 平成16年設立
- 所属人数/43名(秋田大学以外にも国際教養大学、日本赤十字秋田看護大学など県内5大学の学生で構成)
- 活動内容/国際理解や環境問題について取り組む



【カンボジア編】

カンボジアでのスタディーツアーは今回が初めてで、今後私たちができるところからスタートしようと考えていました。秋田市出身でカンボジア在住のフォトジャーナリスト・高橋智史さんにガイドをお願いし、カンボジアを巡るツアーを実施しました。様々な場所を周り、高橋さんに説明をいただく中で鍵となる言葉が「ポルポト政権の影響」でした。今から50年程前にカンボジアを治めていたポルポト政権時代に行われた大虐殺は「カンボジアの悪夢」とも呼ばれています。現在でもこの大虐殺で家族を失い苦しい生活を強いられている人は数多くいます。しかし悪い部分だけではなく、社会を立て直そうと一致団結する国民の姿も感じられ、私たちがカンボジアで何ができるのか、難しいけれど何かをしたいという思いが強くなりました。

【秋田での活動】

私たちは現在、スタディーツアーで学んできたことを伝え、海外へ興味をもってもらうために、小学生を対象にしたワークショップを児童館で行っています。今後は小学校などでも同様の取り組みを実施し、いずれは小学校に「秋田キャンパスネット部」という、国際理解や環境問題などを幅広く扱う部活を作れたらいいなと思っています。また、次回のスタディーツアーに向けて、自分たちが現地に貢献できることは何か、メンバーで考えを出し合い、より密度の濃いスタディーツアーを目指していきたいです。

BORDERLESS

●代表/藤森 鉄平(教育文化学部 国際言語文化課程3年次)

【文化の多様性を感じ、季節を彩るイベント】

私たちBORDERLESSは創設2年と歴史が浅く、それほど知名度のない団体ながら、バラエティー豊かな活動を行っています。4月、新年度の始まりには千秋公園で美しい桜を見つづ各国のゲームで新メンバーたちとの親睦を図ります。お花見という行事を通じ日本文化を見つめなおすとともに、自分とは異なる文化を持った人々との交流を楽しみます。夏は全員で協力し、海でバーベキューを行うのが恒例のイベントとなっています。このバーベキューは飛び込み参加も大歓迎です。今年の夏もポスターやチラシで案内をするので国際交流に興味のある方はぜひ参加してください。

学年や学科といった枠にとらわれず、サークル活動を通して一人ひとりの可能性の幅を広げコミュニケーション能力を高めていくとともに、国際交流の素晴らしさ・楽しさを共有することが活動の狙いです。この他にも大学祭での模擬店出店やハロウィン仮装大会、クリスマスパーティー、スキー旅行などの季節のイベントを開催しています。



プロフィール

- 平成24年創設
- 所属人数/60名
- 活動内容/国際交流。秋大生と留学生が中心となり、他大学の学生や地域の方とともに、各国の文化をさまざまな視点から理解する「多文化共生コミュニティー」となることを目指す。



【学びを深める活動】

各国の食習慣・音楽・言語などを紹介しあう催しや、大震災や津波について留学生と共に話し合い理解を深める学習会など、国際交流や地域との関わりを見つめなおすことを目的とした活動も行っています。今年度は英語と日本語を楽しみながら学び合う勉強会も新たに企画中です。

【サークルの魅力】

現在BORDERLESSに所属している留学生の多くは国際交流協定校からの一年間の交換留学生で、限られた期間である分、交流の密度がより濃いものになっているように感じます。また、BORDERLESSはOB・OGとのつながりも深く200人以上のメンバーと関わりを持つことができます。海外に旅行した際には旧友たちとの再会が待っています。また、帰国した留学生がALT(外国語指導助手)となって再来日するケースもあり、あらゆる場面で「仲間」の重要性を感じます。これまでアメリカ、アルゼンチン、ブラジル、チリ、ペルー、オーストラリア、ケニア、ボツワナ、イタリア、フランス、ルーマニア、フィンランド、ロシア、インド、マレーシア、ベトナム、インドネシア、カンボジア、モンゴル、韓国、台湾、中国...数えきれないほど多くの国の人との出会いがありました。これからもメンバーの一人ひとりが多様な人とのつながりを通じ、新たな可能性を発見できるよう活動の場を広げていきます。



AM2:00 くじけそうなとき、どうやって乗り越えたの?

へとへとでもう前に進めない...そんなとき私の支えとなったものが3つあります。まずは、友人の存在。彼女と一緒にできれば、40kmを完歩なんて到底成し遂げることはできなかったと思います。それから、今回の大会に臨むにあたって、持参したペルーの国旗。母国の威信を背負ったつもりで、長い道のりを必死で歩きました。最後にもう一点。スポーツが好きだった私の父は現在病氣療養中で、父のためにも絶対に完歩すると決意していました。私はいま健康で体力もあります。若いうちにできることに挑戦し、困難を乗り越えなければと考え、自分を奮い立たせました。



AM4:30 女子67名のエントリー中22位、体育会賞を受賞!

そんなこんなで明け方4時半ごろ、どうにかゴールにたどり着きました。タイムは7時間28分09秒でした!しばらく休憩していると、友人が駆け寄ってきて「カティア!あなた22位だって。体育会賞をもらえるよ」と教えてくれました。賞品はお菓子の詰め合わせでした。そのときには、私ってツイてる!頑張れば神様はきちんと見てくれる...と思いました。



地元の消防隊員の皆さんと記念撮影。

今日歩大会実行委員長のコメント



生方 絃希さん/工学資源学部環境応用化学科3年次
カティアさんのチャレンジ精神に脱帽しました!今日歩大会は来年、50周年の節目を迎えます。留学生や地域の皆さんも含め、より多くの方とともにこの大会を盛り上げていきたいです。

もう一度参加してみたいですか?

この大会では、友人の励ましのありがたさや諦めないことの大切さなど多くのことを学びました。でも、再度参加するかと言われると... (笑)。もし次に挑戦するならば、もっと多くの友人を誘ってみんなで戦略を練って、カバンには山盛りのチョコレートと懐中電灯、熊除けの鈴を詰め込んで、万全の態勢で臨みたいと思います!

秋田大学 GOAL!



40km



秋田大学には平成24年10月から26年3月まで在籍し、日本語教育について学んだ。現在はインドネシアの第四メトロ中学校で日本語教師をしている。

アユ・フィットリさん
インドネシア出身



日本人の友人たちと



留学生仲間と持ち寄りパーティー

秋大で学んだ留学生たち

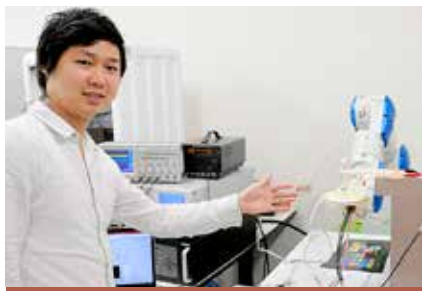
秋田大学では、日本語教育に関して経験豊富な先生方から直接学ぶことができ、また、秋田県内の中学校を訪問し教育現場を見学したこともとても為になりました。

秋田で過ごした一年半、さまざまな国の人と出会い、勉強や行事への参加を通じて良い友達を得ました。忘れられない思い出ばかりです。

大変だったこと
ムスリムとして、少し大変なこともありましたが、ハラールフードを売っているお店やハ

日本に来て今年で7年目になります。来日当初は東京で日本語を学んでから和歌山高専へ進学したのち、平成24年4月秋田大学工学資源学部3年次に編入しました。

秋田は食べ物もおいしいし四季がはっきりしていて気に入っています。地域のお祭りや行事にも積極的に足を運ぶようにしています。



工学資源学研究所 情報工学専攻 博士前期課程1年 / 水戸部研究室所属

トン・タット・ロイさん
ベトナム出身



秋田市の千秋公園で、留学生仲間とお花見。

実は日本に来たばかりのころはホームシックにかかってしまい、ベトナムにいる家族によく国際電話をかけていました。今でも家族の応援というのは自分にとって大きな励みになっています。

現在取り組んでいる研究について
人間情報工学コース水戸部研究室で、温熱療法を研究しています。

博士課程を修了したら
工学の専門家となつて、日本の企業で医療機器の研究・開発職に携わりたいと考えています。もつと経験を積みたいたいですし、これまでもお世話になってきた「日本」に恩返しをしたからです。そして将来的には日本とベトナムを繋ぐ架け橋のような存在になりたい。それが私の描く夢です。



実験中の真剣なまなざし



研究室の仲間たちと、学会発表用の資料を作成中



教室にて



ひらがなを学習中

中学校の先生としてのお仕事について
月曜から土曜まで、中学校で日本語を教えており、2年生と3年生の生徒を受け持っています。日本語の授業数はそんなに多くはないのですが、生徒たちの日本語に対する学習意欲は大きいと感じます。短い時間でも彼ら自身になるように効果的な指導方法を模索しています。

秋田大学では、日本語の正しい教え方や工夫を凝らした教授法を考えることを学びました。素晴らしい先生方にたくさんアドバイスをいただいたことは、今も私にとって指導方法のモデルとなっています。秋田大学で得た経験や学びを活かし、これからも日本語教師として頑張っていきます。

今日歩大会レポート

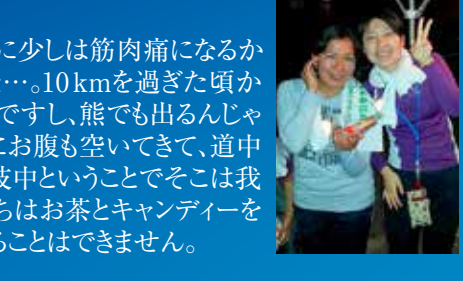


カティア・ラモスさん(ペルー出身)
●昨年9月来日
●秋田大学教育学研究科に所属する国費留学生
●母国での職業は中学校の数学教員。

大会に参加するきっかけ
私のチューター（※留学生の支援を行う学生サポーター）でもある日本人の友人から、「今日歩大会」というイベントがあると教えてもらったことが全ての始まりでした。男鹿から大学までの40kmの道のりをそれぞれのペースで歩く…夜9時に始まり、終わるのは翌朝の8時…なんてユニークでクレイジーな競技でしょう！これはぜひとも体験せねば、ということで一念発起、友人と2人で出場することにしました。

PM9:00 スタート前の気持ち
はるばる日本に来たからには、何事にも積極的にチャレンジしようと決めていましたし、絶対に完歩したいと意気込んでいました。また、教職に携わる者として日本の学校行事に興味があり、ワクワクしていました。

PM12:00 想像以上の苦しみか…
スタート直後ははしゃいでいた私たち。「まあ翌日くらいに少しは筋肉痛になるかもね」なんて軽く考えていたのは、大きな誤算でした…。10kmを過ぎた頃から、すでに脚が痛くなってきたのです。辺りは真っ暗闇ですし、熊でも出るんじゃないかという恐怖も感じました。さらに歩いているうちにお腹も空いてきて、道中何かを買って食べようかとも思いましたが、神聖な競技中ということでそこは我慢…。途中、4カ所の休憩所が設けられていて、私たちはお茶とキャンディーをもらうことができました。そのおいしさといったら！忘れることはできません。



What's 今日歩大会?
●主催 / 秋田大学体育会
男鹿市寒風山から手形キャンパスまでの約40kmを夜通し歩く、秋田大学の恒例行事。49回目目の開催となった今年は、5月24日～25日にかけて、個人の部182名、団体の部46団体が参加、計358名が完歩・完走した。

寒風山 START!

〈一週間の時間割〉

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 9:10~10:00 | 中国語 | 中国語 | | 中国語 | 中国語 |
| 10:10~11:00 | 中国語 | 中国語 | | 中国語 | 中国語 |
| 11:10~12:00 | 中国語 | 中国語 | | 中国語 | 中国語 |
| 13:00~13:50 | | | 中国語 | | |
| 13:55~14:45 | | | 中国語 | | |
| 14:55~15:45 | | | 中国語 | | |



ともに授業を受けている仲間たちと

中国語の授業では韓国人ベトナム人、タイ人の友達に出会い、さまざまな発見がありました。たとえば中国語の発音について。あるときはベトナム語に似ていたり、またあるときは韓国語に似ていたりして、これをきっかけにそれぞれの国の言葉を教えあったりしています。この授業に行くと、世界は繋がっているのだと感じ嬉しくなります。

龍華科技大学での授業
さまざまな国の学生とともに切磋琢磨



台中彩虹眷村にて中国語の先生・クラスメートとともに。(後列右端が鈴木さん)ギターを弾いているのは彩虹戦士。眷村のイメージキャラクターのような存在で、観光客からも人気があります。

こんにちは、台湾留学中の鈴木志歩です。私の留学生活について紹介します。



台湾・龍華科技大学からのレポート

教育文化学部 国際言語文化課程 3年次

鈴木 志歩

台湾留学期間
平成26年2月～平成27年1月

初めての共同生活

ルームメイトは台湾人！
今は寮生活をしていて、4人部屋に3人で住んでいます。日本では一人暮らしをしていたので、こうやって同年代の、それも学部やバックグラウンドの違う仲間たちと住むのは新鮮です。日本で一人暮らしをしていたことを話すと「それ寂しくないの？」と大変じゃないの？とよく聞かれます。私は日本にいた頃は共同生活に抵抗があつて嫌だと思つていました。けれど実際に仲間と暮らしてみると困ったときはすぐに助け合えるし、なおかつ楽しみは2〜3倍。共同生活も悪くないと思ふようになりました。



寮のルームメイトと(左が鈴木さん)

台湾グルメレポート

寮では自炊できないため、外にご飯を買いに行かなければなりません。台湾の道路はバイクが多く、とりわけ大学近辺では歩道や狭い道で無理な運転をする人もいて時々轢かれそうになりながら屋台にたどり着きます。



滷味(選んだのは豆腐と卵)

異国の地でもいまま思ひん

台湾で初めて見て体験することがたくさんあつて、何もかもが新鮮です。例えば、電車やバスの中でも携帯電話で普通に話している人、お客さんがお店に入つてきてもお構いなしにご飯を食べていたり携帯をいじつたりしている店員さん、映画館では面白いシーンがあると周りに気せず声を出して笑つたり...などなど、日本では珍しいことだと思います。異文化に慣れることで、日本では当たり前すぎて気づかなかつた日本人の習慣や周りへの配慮を重んじる気質に気づくこともできました。毎日が発見の連続であり、「何これ？何て言うの？」の繰り返して、世界観が広がっていくのを実感しています。

残りの留学期間の目標

もっと喋りたい

大学の授業で学んだ中国語を日常生活で積極的に使つて磨きをかけていきたいです。「わからない」がなくなるように努力していきたいと思ひます。

留学生活も後半にさしかかり、今後ともたくさんの人とコミュニケーションをとってさらに友達を増やし、日々を充実させていきたいです。

国立大学法人
秋田大学の役職員の
報酬・給与等について

国立大学法人は、「公務員の給与改定に関する取扱いについて」(平成21年8月25日閣議決定)によって、総務大臣が定める様式により役職員の給与等の水準を毎年度公表することとされています。

総務大臣が定める様式は、「国立大学法人等の役員の報酬等及び職員の給与の水準の公表方法等について(ガイドライン)」として定められており、本学もこれに従って公表しています。

なお、詳細については、本学ホームページをご覧ください。

公表内容

I 役員報酬等について

- 1 役員報酬についての基本方針に関する事項
- 2 役員の報酬等の支給状況
- 3 役員の退職手当の支給状況

II 職員給与について

- 1 職員給与についての基本方針に関する事項
- 2 職員給与の支給状況

III 総人件費について

IV 法人が必要と認める事項

主な概要

1. 役員報酬及び職員給与の年間総額 (単位：千円)

| 役員 | 報酬等総額 |
|-----|--------|
| 学長 | 15,584 |
| A理事 | 12,338 |
| B理事 | 11,564 |
| C理事 | 11,472 |
| D理事 | 11,940 |
| 監事 | 9,606 |

| 職員 | 年間平均給与 |
|--------|--------|
| 事務・技術職 | 4,664 |
| 大学教員 | 7,363 |
| 病院看護師 | 4,952 |

2. 人件費総額 (単位：千円)

| | |
|--------|---------------------|
| 平成25年度 | 15,160,007 |
| 平成24年度 | 14,648,369 |
| 比較増減 | 511,638 (+ 3.5%) |

平成25年度に係る本学役員の報酬及び職員の給与水準の資料を本学ホームページにも公表しています。
http://www.akita-u.ac.jp/honbu/publicinfo/pu_legal.html

NHK



キャンペーン
summer campaign

平成26年

7月26日(土) 27日(日)

会場：エリアなかいち

27日 にぎわい広場

ニュースこまち presents
こまちスタイル 番外編

夕方6時10分から放送している「ニュースこまち」で好評を得ているコーナー「こまちstyle」。今回はスタジオを飛び出して、ながいちのステージからお届けします。

- ▶1回目：午前10時30分～11時
- ▶2回目：午後1時45分～2時15分

【出演】いせきあい(イラストレーター)、渡部 純也(シンガーソングライター)

ワンフとあそぼうショー

Eテレでおなじみの人気キャラクター「ワンフ」による楽しいファミリーステージです。

- ▶1回目：午前11時15分～11時55分
- ▶2回目：午後3時15分～3時55分

27日 恋ジモ in 秋田

～NHKで秋田の夏を楽しもう！～

地域の元気を応援するNHKのプロジェクト「恋する地元キャンペーン」。秋田県代表のpramoが、今夏NHKで放送する番組の魅力をお伝えします。

- ▶1回目：午後0時15分～0時45分
- ▶2回目：午後2時30分～3時

【出演】pramo

27日 まち発見・発信ステーション

NHK 朗読ひろば

NHK秋田放送局のアナウンサー・キャスターによる朗読ステージ。豊かな物語の世界をお楽しみください。

- ▶午後2時30分～3時15分

26日(土) 27日(日) まち発見・発信ステーション

NHK秋田放送局が制作するドラマ「ザ・ラスト・ショット」をはじめとする様々な番組を紹介するブースです。このほか、どーもくんやポコポコットの仲間たちなど、NHKの大人気キャラクターがお出迎えます。

- ▶午前10時～午後5時

人事異動情報(平成26年4月2日～6月1日)
【掲載対象は、部局長等・教授以上】

| 発令年月日 | 新配置 | 旧配置 | 氏名 |
|---------------|--------------------|---------------------|-------|
| 役員 | | | |
| 平成26年4月21日 | 理事(総務担当) ／総括副学長 | 理事(総務担当) ／副学長 | 小川 信明 |
| 部局長等兼務 | | | |
| 平成26年4月9日 | 学長補佐(国際交流担当) | 国際資源学部教授 | 今井 亮 |
| 平成26年4月9日 | 学長補佐(国際交流担当) | 教育文化学部教授 | 長谷川 章 |
| 平成26年6月1日 | 附属図書館館長補佐 | 国際資源学部教授 | 大場 司 |
| 平成26年6月1日 | 附属図書館館長補佐 | 教育文化学部教授 | 阿部 昇 |
| 昇任 | | | |
| 平成26年5月1日 | 医学系研究科教授 | 医学系研究科准教授 | 山本 浩史 |
| 退職 | | | |
| 平成26年5月30日 | 退職(死亡) | 理事(財務・施設・ 環境担当)付 | 篠山 公郎 |

海外渡航
【教職員の外国出張・海外研修】(一カ月以上)

| 所属・職名・氏名 | 渡航目的 | 渡航先国 | 渡航期間 | 備考 |
|----------------------------------------------------|-----------------------|------|---------------------|----|
| 大学院医学系研究科 医学専攻 耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座 助教 小泉 洸 | パッチクランプ法を用いた内耳機能解析の研究 | アメリカ | 26.6.29～ 27.6.30 | 研修 |

海外渡航【学生の海外派遣事業等】

| 事業名 または経費 | 所属学部等名・氏名 | 留学先大学名 (国名) | 渡航期間 |
|--------------------------|------------------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 秋田大学 医学部医学科 国際交流基金 | 医学部医学科 [3年]岡本 楓/山田 愛里 | 短期海外学修/ リール大学 (フランス) | 26.5.26～ 26.7.4 |
| 秋田大学 医学部医学科 国際交流基金 | 医学部医学科 [3年]井口 明/小島 柊/堤 俊太 | 短期海外学修/ キャリアリ大学 (イタリア) | 26.5.26～ 26.7.4 |
| 海外留学 支援制度 (短期派遣) | 理工学部 数理・電気電子情報学科 数理科学コース [1年]奥山 健人 | ビクトリア大学 英語センター (カナダ) | 26.9.1～ 26.9.27 |
| 海外留学 支援制度 (短期派遣) | 工学資源学部 地球資源学科 [2年]深津 裕貴 | ビクトリア大学 英語センター (カナダ) | 26.9.1～ 26.9.27 |
| 秋田大学 派遣交換 留学生 | 工学資源学部 情報工学科 [4年]佐藤 翔平 | 大連民族学院 (中国) | 26.9.1～ 26.12.26 |

教育研究プログラム等採択状況(平成26年4月1日～5月31日採択分)

| 制度名 | プロジェクト名 | 事業期間(年度) | 交付金額等 (単位:千円) | 所属・事業代表者 |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| (公財)中島記念国際交流財団助成 平成26年度留学生地域交流事業 | 第三の故郷を見つける農家民泊2014 | 26年度 | 564 | 秋田地域留学生等 交流推進会議議長 秋田大学長 澤田 賢一 |
| 平成26年度国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) | 持続可能な資源開発表現のための 空間環境解析と 高度金属回収の融合システム研究 | 26～30年度 | JST:180,050 JICA:300,000 (予定額) | 国際資源学部 教授 石山 大三 |
| L20FeCo及びL10FePt-bccFeCoに着目した 革新的磁石創成に関する基礎研究 | 研究成果展開事業 産学共創基礎基盤研究プログラム | 26～27年度 | 31,574 | 工学資源学研究科 教授 石尾 俊二 |
| 平成26年度地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 イノベーションシステム整備事業 大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型) | 紫外可視光変換材料の開発 および量産技術の確立と事業化 | 24～26年度 | 32,786 (26年度分) | 工学資源学研究科 講師 辻内 裕 |

秋田発地域ドラマ



NHK秋田放送局では、バスケットボールをテーマに地域発ドラマ「ザ・ラスト・ショット」を制作します。“バスケット王国・秋田”を舞台に、バスケットボールを通じて“人生をあきらめない男”を描き、秋田県人の粘り強い魂に肉薄します。また、「竿燈祭り」をはじめとする美しい情景の数々もストーリーに彩りを添えるなど、秋田ならではの魅力を全編に散りばめ、全国に向けて発信します。

- 放送予定 2014年11月 BSプレミアム
- 作 三上 幸四郎
(「特命係長 只野仁」、「世にも奇妙な物語」など)
- 撮影予定 2014年8月 秋田県内でオールロケ

“ラスト・ショット”の失敗によって時間が止まった男。
 “あきらめない魂”をたぎらせ、再び“ラスト・ショット”に挑む。

エキストラ募集!

エキストラとしてドラマに参加してみませんか?
 申込等詳細は、ホームページで順次発表!



イベント&講座・講習会

産学連携推進機構客員教授セミナー 環境問題を産学連携のシステムで解決できるか～社会実装を目指した国際産学連携の可能性に向けて～

- 7月15日(火) 13:30～16:00
- 手形キャンパス 百周年記念館2階会議室
- 入場無料
- ☎018-889-2712(産学連携推進機構)

平成26年度 秋大憩いのコンサート

- 【第46回】●7月27日(日)14:00～ “夏の日の歌声”
- 【第47回】●8月23日(土)14:00～ “ピアノで日本民謡”
- 【第48回】●9月28日(日)14:00～ “放浪のバイオリン”
- 手形キャンパス インフォメーションセンター
- 入場無料
- ☎018-889-2647(教育文化学部 齋藤准教授)

産学イブニング・サロンあきた(SESSA)

- 【第28回】●7月24日(木)18:00～20:00
- 【第29回】●8月28日(木)18:00～20:00
- 【第30回】●9月25日(木)18:00～20:00
- 手形キャンパス 大学会館
- 会費1,000円(軽食等の提供あり)
- ☎018-889-2712(産学連携推進機構)

鉱業博物館

ジュニアサイエンススクール

秋田県内旧鉱山の見学や、水晶や黄銅鉱などの鉱物の採集、標本作成を行います。

- 7月29日(火)・30日(水) 8:30集合
- 秋田県内採集場・鉱業博物館講堂
- 対象:小学6年生(定員20名・要事前申込み)
- 参加費無料 ☎018-889-2461(鉱業博物館)

メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト ～高齢社会を明るく元気に生きる～

- 8月8日(金)15:00～17:15(14:30開場)
- 八峰町文化交流センター「ファガス」
- 対象:どなたでも(定員200名・要事前申込み)
- 申込先:八峰町企画財政課
- ☎0185-76-4603 ●FAX 0185-76-2113
- E-mail:kikaku@town.happou.akita.jp
- 参加無料 ☎018-889-2270(秋田大学地域創生課)

秋田大学子ども見学デー ～“頭”と“体”でフル体験～

- 8月8日(金)9:30～15:00
- 手形キャンパス 60周年記念ホール
- 対象:小学生
- (保護者同伴・定員300名程度・要事前申込み)
- 参加無料 ☎018-889-2270(地域創生課)

第10回 能代宇宙イベント

宇宙を目指す全国の高校生・大学生による日本最大規模のアマチュア宇宙イベント。

- 8月15日(金)～22日(金)
- 能代宇宙広場(能代市旧浅内第三鉱さい堆積場)
- ☎018-889-2806
- (工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センター)

COC事業 第3回日本聞き書き学校 in男鹿

人生の先輩方が語る「ことば」を聞き、書き記すことで一冊の本にまとめます。

- 8月29日(金)～31日(日)
- 男鹿観光ホテル ●要事前申込み
- 参加費25,000円(2泊3日5食付き)
- ☎018-889-3173(地域創生センターCOC事務局)

2014
Open Campus 2014
AM9:00～

あなたが見つけた色は、きっと明日の色を変えていく。

実施内容
入学試験の説明 + 学部・学科・課程・コース等の概要説明
模擬授業 + 研究室・施設見学 + 学食無料体験

申込
AO入試生募集要項(理工学部のみ)を配布します。
秋学 Open Campus in 手形
2014/10/18 AM9:00～

申し込み方法は、秋田大学ホームページをご覧ください。
秋田大学 オープンキャンパス 検索



秋田のコレカラをつくる。



秋田まちづくり株式会社

〒010-0001 秋田市中通一丁目4番32号 秋田センタービル7F
TEL:018-874-7500 FAX:018-832-1198

| | | | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------|---------------------------|------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | | | | | | |
| オーガニック・セレクトショップ Large(ラルジュ) | リラクゼーションルーム アクアマリン | エステ・リラクゼーションルーム ラディーチェ | 和食・秋田菜彩 御厨 光琳 | 総合食品売り場 なかいちプラザ | 寄り道居酒屋とりっこ本陣 なかいち棧敷 | イタリアンレストラン アミスターデなかいち | いなにわ手鞠うどん本舗 寛文五年堂 秋田店 |